



71110-XNH -K0S0 N-BOX CUSTOM FRONT UNDER SPOILER

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開封後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損の無いことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。

【適合車種】 N-BOX CUSTOM DBA-JF3・4

【色記号】	無限色記号	ホンダ色記号	色名
	PX	NH875P	プレミアムホワイト・パールⅡ
	RN	NH830M	ルナシルバー・メタリック
	CB	NH731P	クリスタルブラック・パール
	HG	NH880M	シャイニング・グレー・メタリック
	VP	PB89P	プレミアムベールベツトパール・パール
	BT	B593M	ブリリアントスターティブルー・メタリック
	PK	YR634P	プレミアムグラマラスローズ・パール
	MR	R81	ミラノレッド
	ZZ	—	未塗装

※色記号はサービスインフォメーションプレートで確認してください。

3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T-E-C 商品事業部 営業1課

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日除く）】

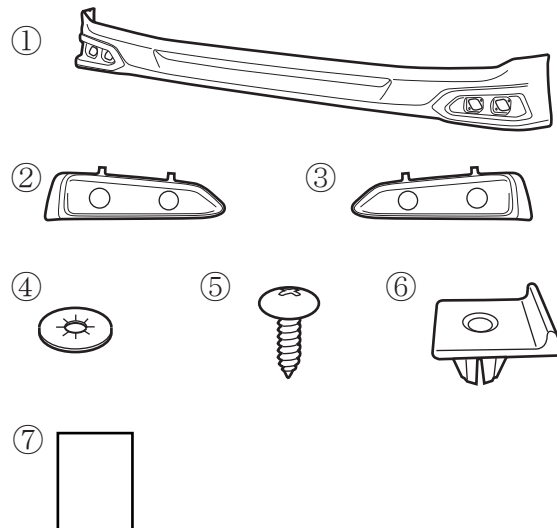
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. フロント アンダー スポイラーが事故や接触等により破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外してください。
そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. フロント アンダー スポイラーの取り付けによってバンパー部の地上高が低くなり、縁石、駐車場の車止めや段差等の通過の際、フロント アンダー スポイラーを擦る恐れがありますので、十分注意して運転してください。
3. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。フロント アンダー スポイラーに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
4. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認してください。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	フロント アンダー スポイラー	1
②	イルミ ガーニッシュ R	1
③	イルミ ガーニッシュ L	1
④	プッシュナット	2
⑤	タッピングスクリュー	2
⑥	グロメット	2
⑦	型紙 a、b	取付・取扱説明書内



未塗装品のみ 未装着品

No.	PARTS NAME.	QTY.
⑧	モール (グレー/ブラック)	各 1



【必要工具】

- ・ドライバー + ・クリップリムーバー ・ドリルφ3、φ8、φ11 ・エアソー
- ・ハサミ ・イソプロピルアルコール ・ウェス ・キリ ・マスキングテープ
- ・水性ペン

◆◆塗装作業の注意事項◆◆

- 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付上限温度は60℃です。60℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意ください。
- その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行ってください。
- 遠赤外線機でのスポット乾燥はお止め下さい。

推奨品 塗料：2液性アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

I. 取付準備

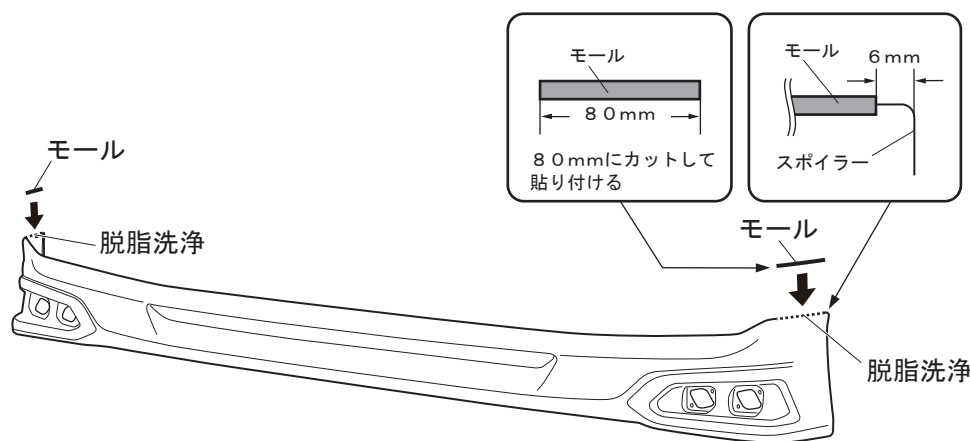
- 《注意》・フロント アンダー スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・作業は左右同様に行うこと。

- ①未塗装品の場合は塗装後、モールをフロント アンダー スポイラーに貼り付ける。
この時、貼付け面を脱脂すること。

モール

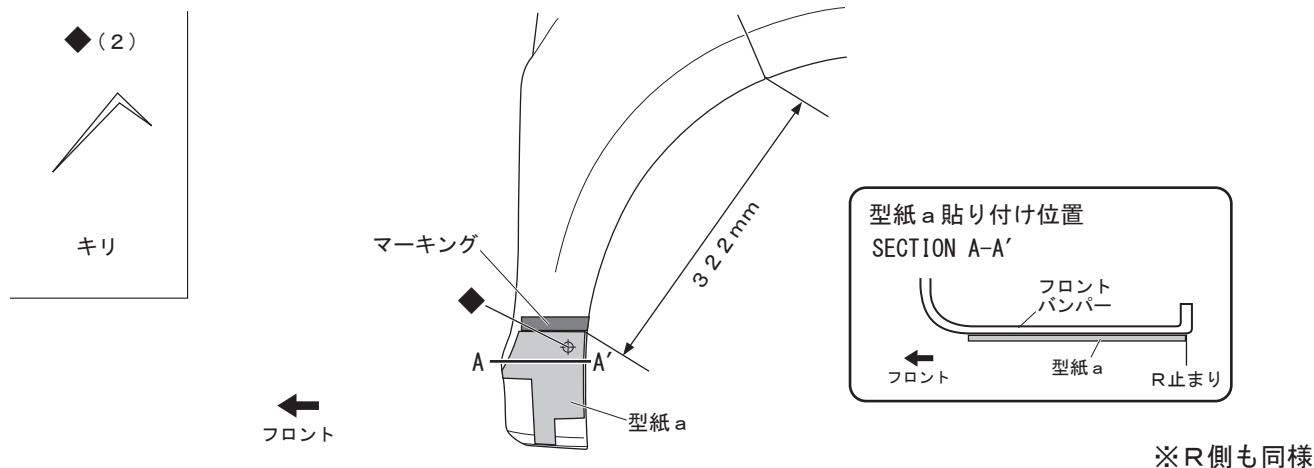
- ・車体色が明るい場合
グレー
- ・車体色が暗い場合
ブラック

モール断面

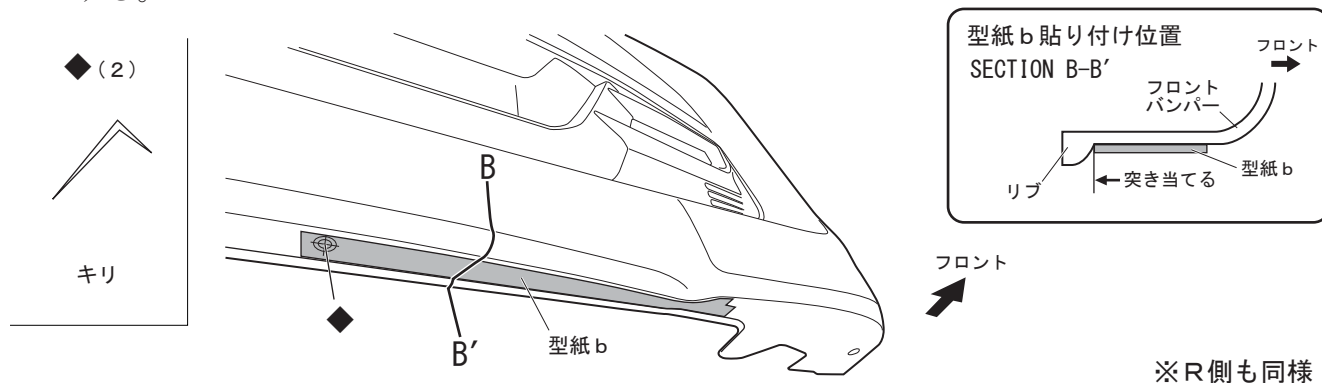


※R側も同様

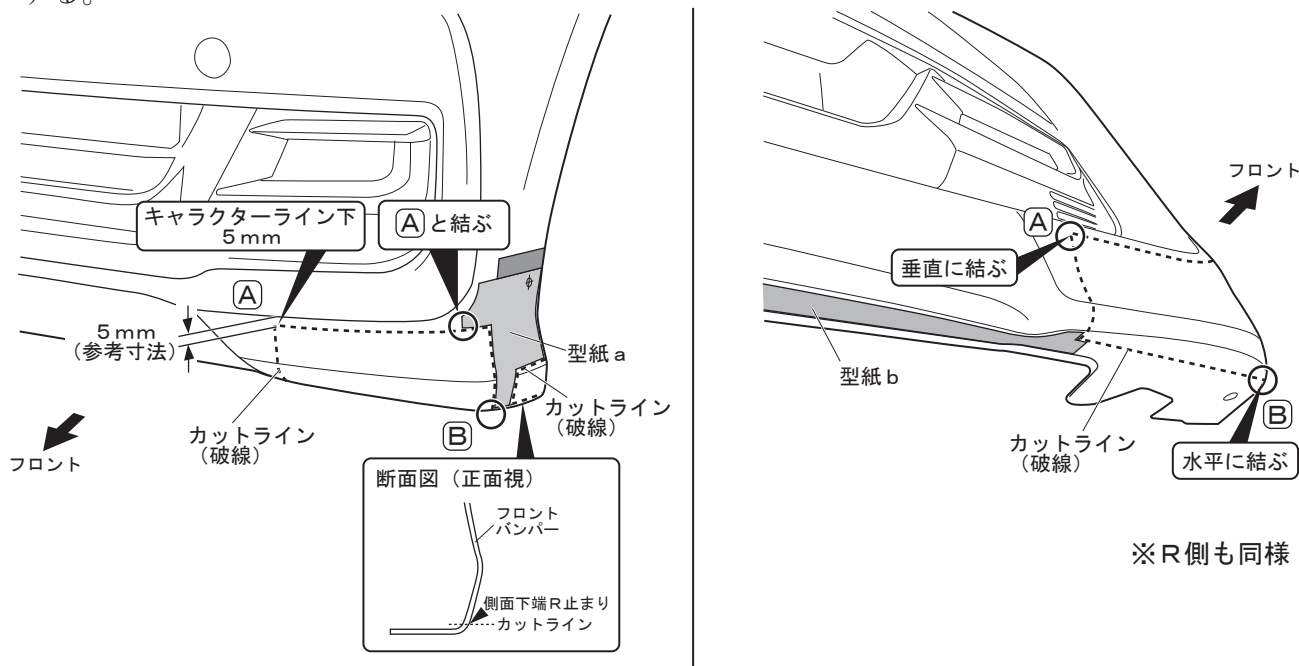
②型紙 a をフロント バンパーの側面にマスキングテープ等で貼り付け、取り付け高さをマスキングテープでマーキングし、穴開け位置をキリでマーキングする。



③型紙 b をフロント バンパー下面にマスキングテープ等で貼り付け、穴開け位置をマーキングする。



④型紙 a、b を基準にフロント バンパーに切除範囲のカットラインを水性ペンでマーキングする。



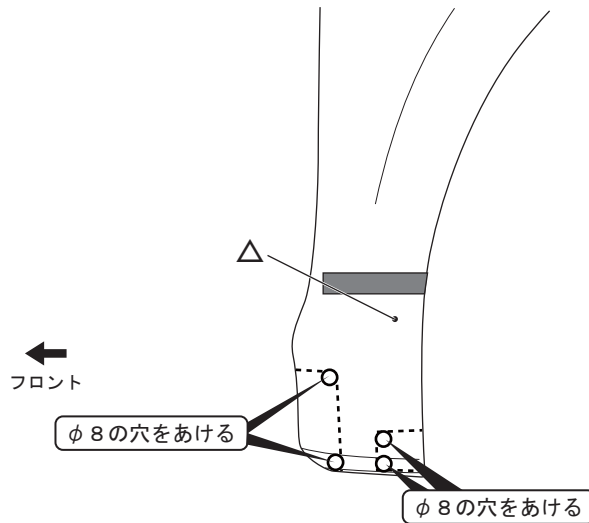
⑤型紙 a、b を剥がし、車体からフロントバンパーを取り外す。(サービスマニュアル参照)

- ⑥フロント バンパー側面の穴開けマーキング位置に $\phi 8$ ($\phi 3 \rightarrow \phi 8$) の穴を左右各1ヶ所開ける。穴開け後は、穴周囲のバリを除去する。
また、下図のようにカットラインの角部に $\phi 8$ の穴を開ける。

△(2)



ドリル
 $\phi 3 \rightarrow \phi 8$



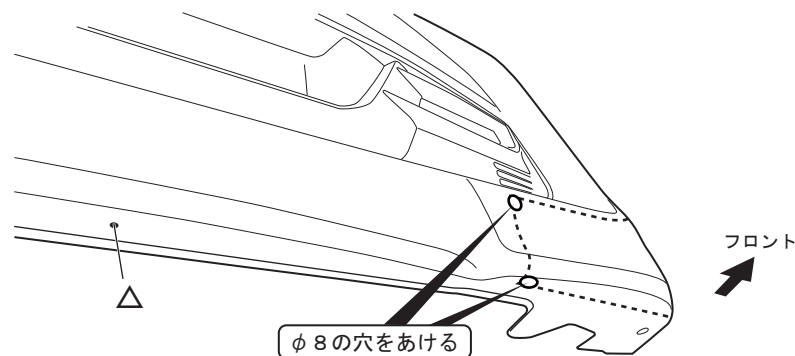
※R側も同様

- ⑦フロント バンパー下面の穴開けマーキング位置に $\phi 11$ ($\phi 3 \rightarrow \phi 8 \rightarrow \phi 11$) の穴を左右各1ヶ所開ける。穴開け後は、穴周囲のバリを除去する。
また、下図のようにカットラインの角部に $\phi 8$ の穴を開ける。

△(2)

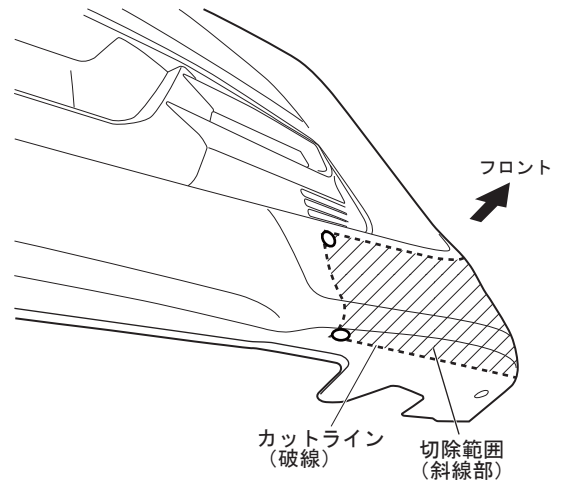
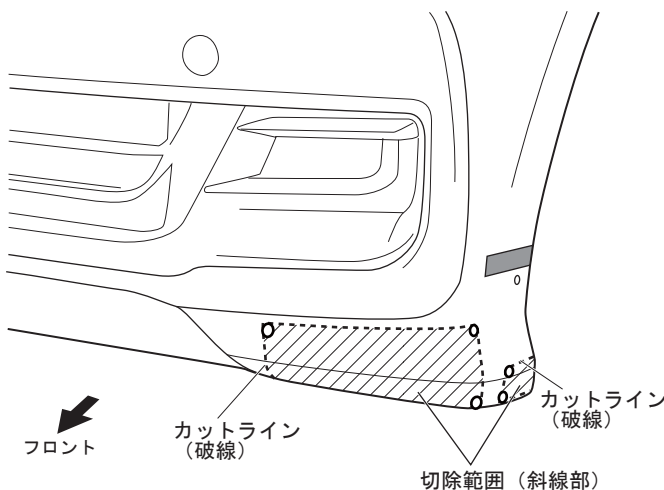


ドリル
 $\phi 3 \rightarrow \phi 8 \rightarrow \phi 11$



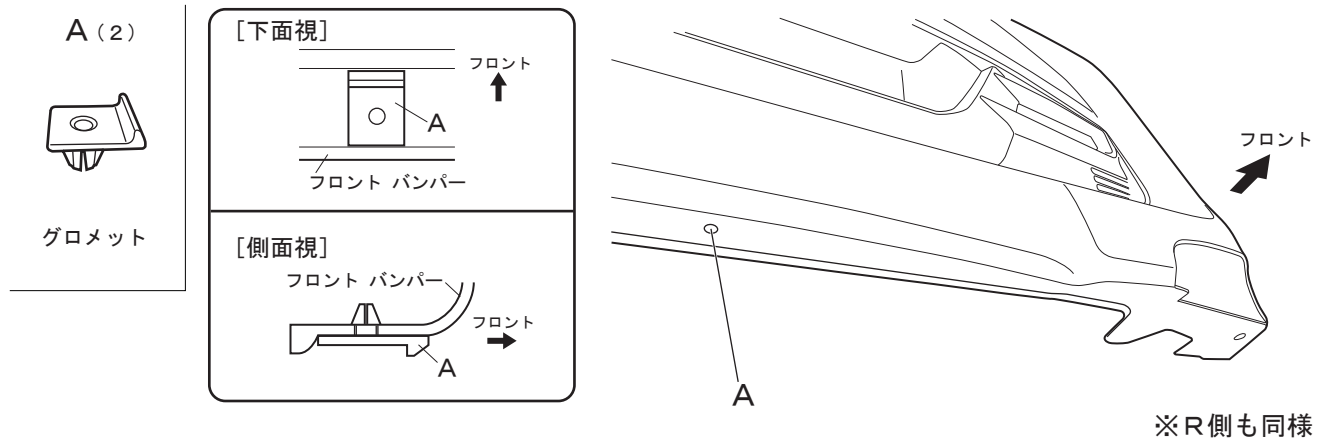
※R側も同様

- ⑧カットラインに沿って角部の $\phi 8$ 穴を結ぶようにエアソー等で切除加工する。
切除加工後は、切除面周囲のバリを除去する。

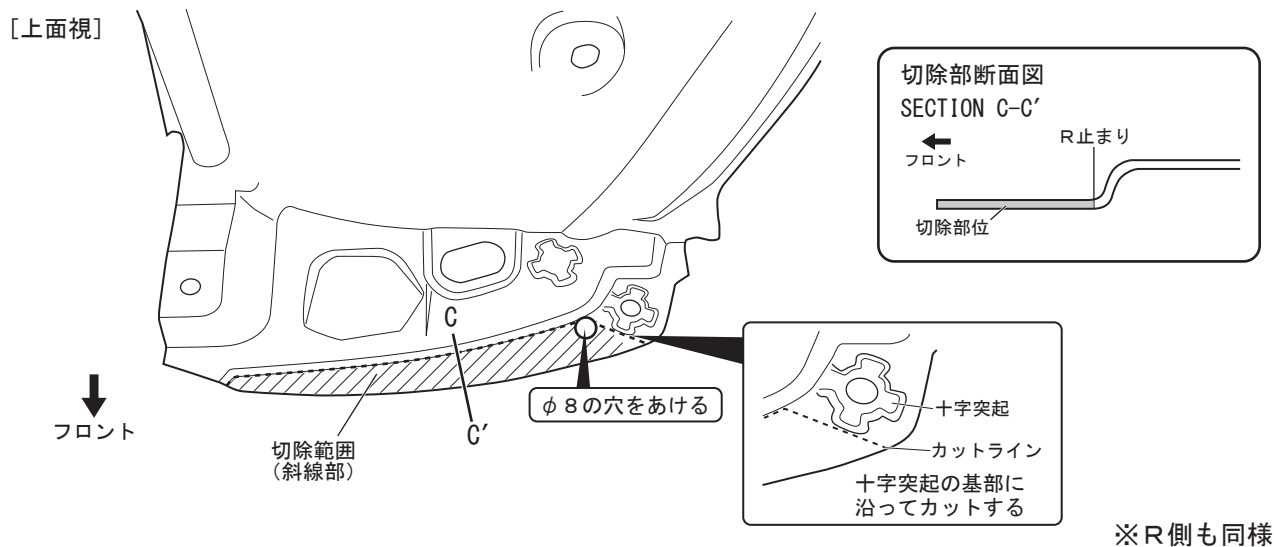


※R側も同様

⑨フロント バンパー下面φ 11の穴にグロメット（A）を取り付ける。



⑩フロント インナーフェンダー前端部を切除加工する。その際、図示部にφ 8の穴を開けてカットラインを端末と結ぶように切除する。
切除加工後は、切除面周囲のバリを除去する。



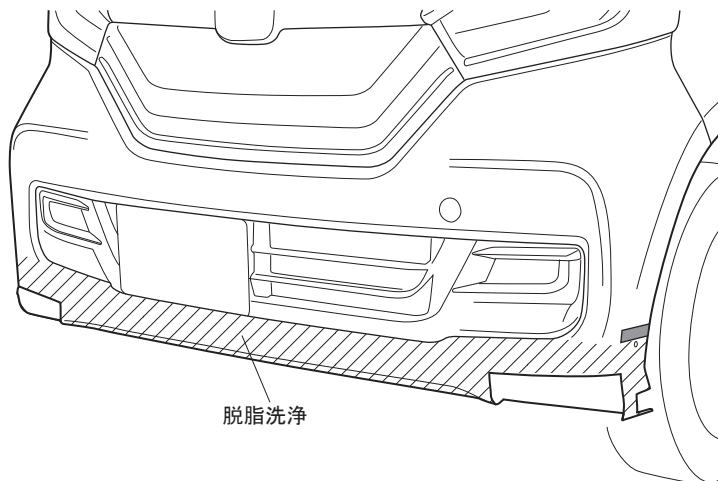
⑪フロント バンパーを車両に取り付ける。（サービスマニュアル参照）
※この段階では、フロント インナー フェンダーは固定しない。

II. フロント アンダー スポイラーの取付

《注意》・フロント アンダー スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

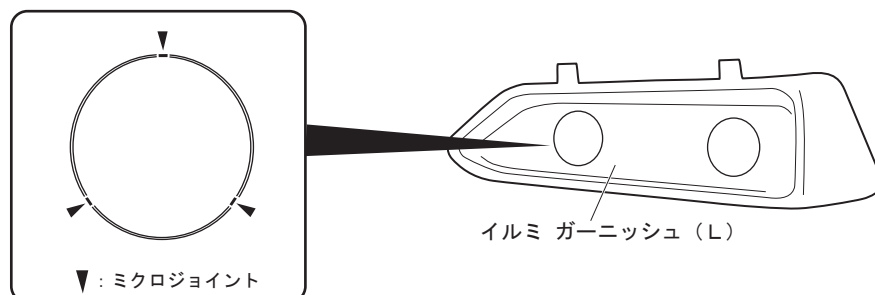
- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様に行うこと。

①フロント バンパーの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



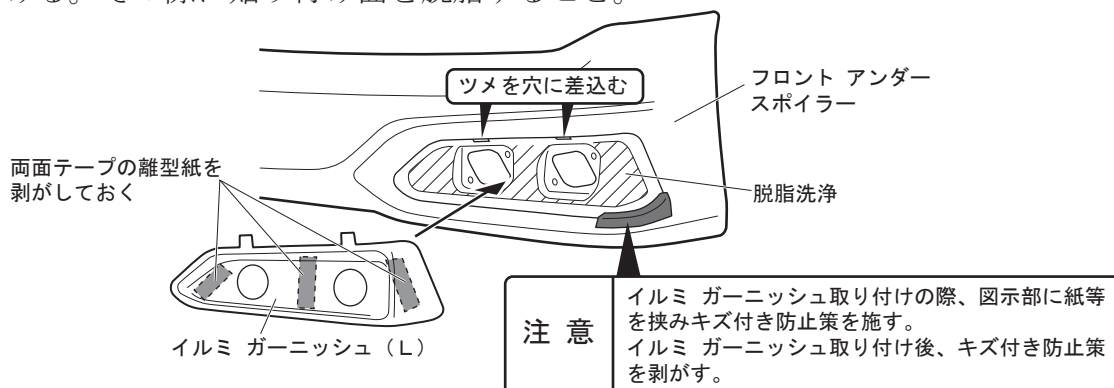
②エアロイルミネーション (33400-XNH -K0S0) を取り付ける場合は、イルミ ガーニッシュ 2ヶ所の取り付け部のマイクロジョイントをカッター等でカットする。また、エアロイルミネーションの取付・取扱説明書に従い、エアロイルミネーションを取り付ける。

※意匠面に気を付けてバリを取る。



※R側も同様

③イルミ ガーニッシュ裏面の両面テープの離型紙を剥がし、フロント アンダー スポイラーに貼り付ける。その際に貼り付け面を脱脂すること。



※両面テープの圧着は十分行うこと。

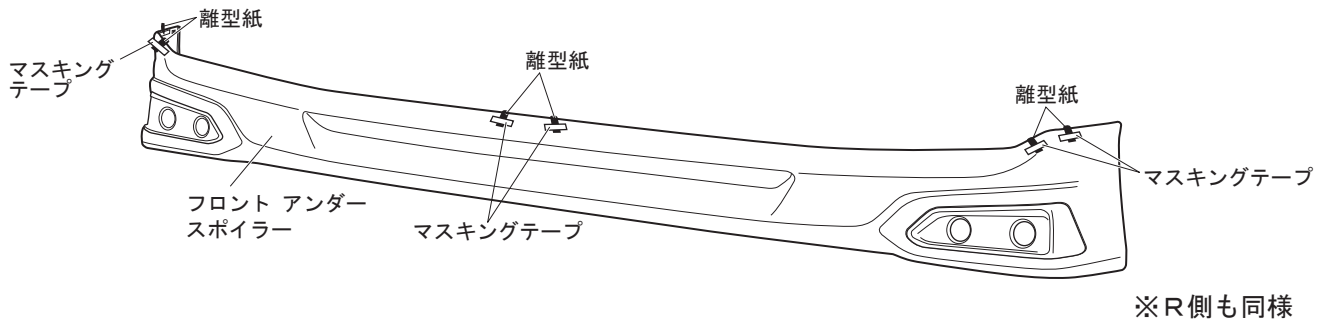
圧着不足は、イルミ ガーニッシュの浮き剥がれの原因となります。

※R側も同様

注意

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

- ④フロント アンダー スポイラーの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、表側に折り返してマスキングテープで固定する。

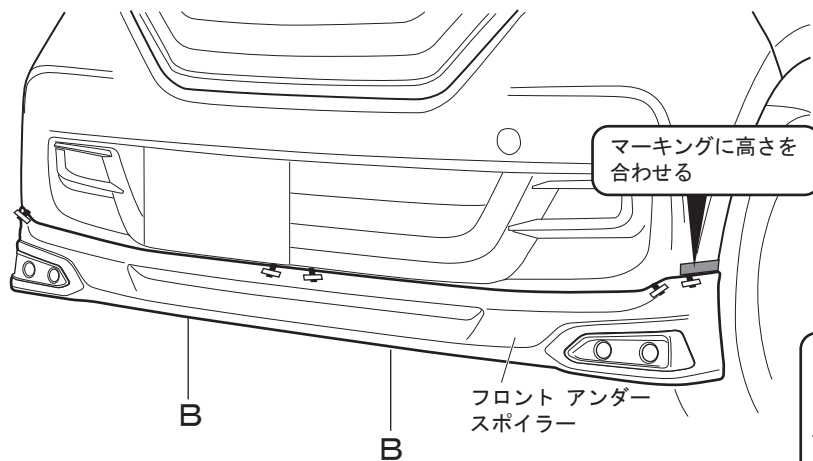


- ⑤フロント アンダー スポイラーを側面の取り付け高さマーキングに合わせながら車両に仮当てし、下面をタッピングスクリュー（B）で仮固定する。

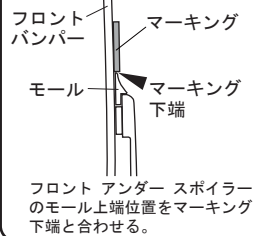
B (2)



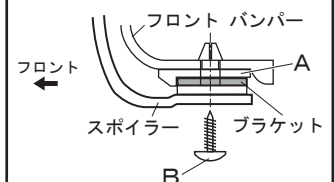
タッピング
スクリュー



〔側面断面図〕



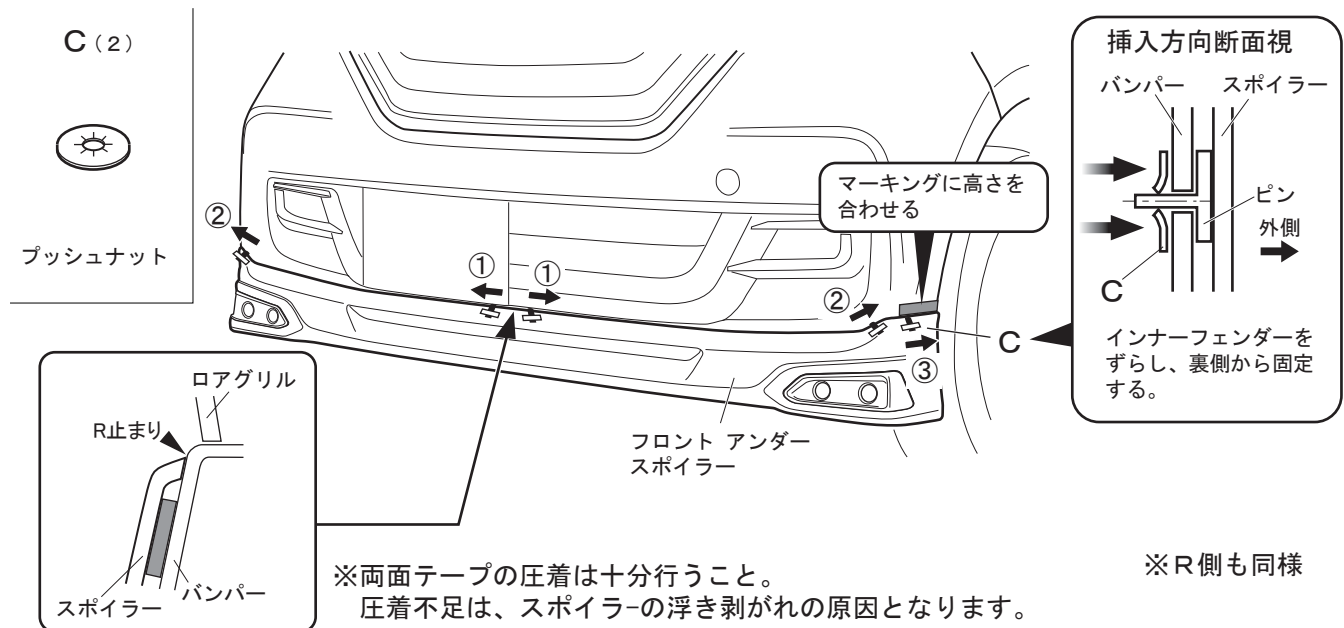
〔下面締結部断面図〕



※R側も同様

⑥取り付け位置を確認し、下図の順番に従い両面テープの離型紙を引き抜くように剥がして圧着し、プッシュナット（C）を車両内側から固定する。

アドバイス プッシュナットの取り付けは、インナーフェンダーをめくりながら行う。



注意

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。
温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

⑦タッピングスクリュー（B）を本締めし、フロント インナー フェンダーを元に戻して取り付け状態が完全か確認する。

XNHフロント アンダー スポイラー 型紙 a、b

〔注意〕 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。

